

議 題 ・ 課 題 等 提 案

目次	頁
1. 公民連携について . . . . .	1 ~ 2
2. 「公共施設マネジメント」の推進について . . . . .	3 ~ 5

# 1. 公民連携について

## 1

## 現状

### ■現状

事業のスクラップ&ビルドやさらなる経費削減等を行い、歳出を抑制する一方で、これまで命名権（ネーミングライツ）の活用による歳入確保に取り組んできましたが、今後、さらなる財源確保をする必要があります。このことから市の資産活用による命名権（ネーミングライツ）の付与に加えて、民間企業からのユニークな発想やアイデアによる提案を幅広く募集することで、市民サービス向上や施設の良い管理運営に役立てるため、平成28年4月1日から「公民連携ネーミングライツ・パートナーシップ提案制度」を広く募集しています。

また、これまで各種有料広告による歳入確保に取り組んできましたが、さらなる歳入を確保する必要があります。このことから民間企業のユニークな発想やアイデアによる広告事業の提案を幅広く募集し、市が所有する有形・無形を問わず、資産を最大限に活用するため、平成28年4月1日から2回目の「公民連携広告事業提案制度」を広く募集しています。

### 【平成27年度実績】

#### 公民連携広告事業提案制度

採用…… 2件

- ・提案件名：広告付き番号案内表示システム  
金 額：年間 453,600円（5年間）
- ・提案件名：広告付き案内地図板  
金 額：年間 907,200円（5年間）

### 【参考】公民連携（PPP：Public Private Partnership）とは…

行政と民間が連携して、それぞれお互いの強みを生かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現し、地域の価値や住民満足度の最大化を図るもの

## 2

## 課題

### ■課題

ネーミングライツ・パートナーシップ提案制度、広告事業提案制度ともに募集のみ行っているだけで良い提案が出てくるものではありません。

よって、市内外を問わず、広く営業活動に出ています。感触があったのは数社です。

今後、より多くのより良い提案をいただくため、関係課と情報共有をしながら提案制度を広くPRしていきたいと考えています。

また、提案の実現のためには、提案者の内容と所管課の意向を十分調整しながら、提案者と繰り返し対話を行い、提案者・行政にとって魅力的な提案書にしていく必要があります。

## 3

## 今後の方針

### ■公民連携ネーミングライツ・パートナーシップ提案制度（予定）

平成28年6月	提案締切
	審査委員会（非公開）
7～8月	パブリックコメント
	行政改革推進委員会（非公開）
9月～	実施に向けての調整
平成29年4月	実施

### ■公民連携広告事業提案制度（予定）

平成28年6月	提案締切
	審査委員会（非公開）
7～9月	実施に向けての調整
10月	実施

※提案内容によっては、当初の予定より事業化を早める場合があります。

※対象施設の拡大など、提案内容を参考に提案制度の拡大も検討していきます。



## 2

# 「桑名市公共施設等総合管理計画」の推進

### ■ マネジメントの実施

今後は「桑名市公共施設等総合管理計画」により、多様化する市民ニーズに的確に対応し、将来にわたり真に必要な施設サービスを効果的に提供しながら、長期的な視点をもって、更新、統廃合、長寿命化などを行うことにより、公共施設等の最適な配置を目指します。

#### (1) 実施計画（アクションプラン）の作成

計画が50年間の長期にわたるものであることから、実施に際しては、その時々的人口、財政、社会情勢、計画の進捗状況などに応じて柔軟な対応が必要となります。このため、概ね10年を基準に実施計画（アクションプラン）を作成し、PDCAサイクルを取り入れながら公共建築物（ハコモノ）のマネジメントを実施します。

#### ◆ 公共施設マネジメントの体系

公共施設白書	桑名市公共施設マネジメント白書（H25策定）				
基本方針	桑名市公共施設等総合管理計画				
実施計画（10年単位）	H28～H37	H38～H47	H48～H57	H58～H67	H68～H76
アクションプラン	第1次プラン	第2次プラン	第3次プラン	第4次プラン	第5次プラン

#### (2) 公民連携の取り組み

公共施設等の更新、統廃合、長寿命化、多機能化（複合化）など今後の管理方法について、民間の技術やノウハウ、資金などを積極的に活用します。

また、公共施設等の整備、管理、運営などについて、各種公民連携手法の効果的な運用に取り組みます。

#### (3) 市有財産の有効活用

今後、公共施設マネジメントを推進することにより、利活用の方針を定めることが必要となる市有財産の増加が見込まれます。こうした財産の将来的な利用計画については、市内において情報の共有に努めながら横断的に検討し、それぞれの状況に応じて現状維持、貸付活用、売却処分を行い、有効活用を図ります。

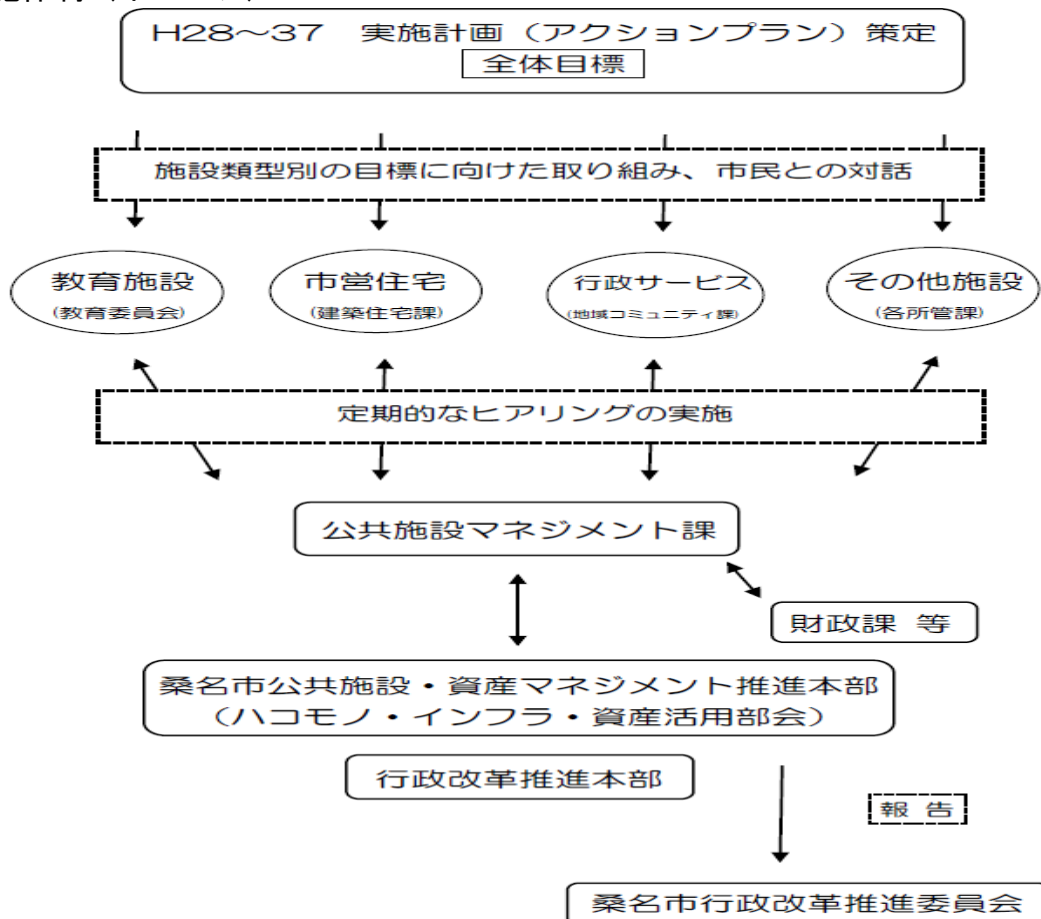
### 3

## 今後の方針

### ■実施計画（アクションプラン）策定までの主なスケジュール

時期	作業項目
4～6月	施設類型別担当部署ヒアリング など
7～9月	施設類型別担当部署ヒアリング など
10～12月	施設類型別担当部署ヒアリング 桑名市公共施設・資産マネジメント推進本部 部会 桑名市公共施設・資産マネジメント推進本部 桑名市行政改革推進委員会 庁内研修会
1～3月	市民ワークショップ（2回／1日） 施設類型別担当部署ヒアリング 桑名市公共施設等総合管理計画実施計画H28～H37（アクションプラン）公表

### ■実施体制（イメージ）



### ■「公共施設マネジメント」によるまちづくり ～未来をひらく桑名のまちづくり～

これまでのように老朽化した施設を単に建替えるのではなく、今後の人口減少や公共施設に対するニーズの変化を的確にとらえ、将来的なまちづくりの一環として公共施設のマネジメントを進めます。施設の統廃合や更新にあたっては、原則として複合施設とし、多機能化を図ります。